

令和 6 年度事業評価シート

1. 【沖縄県】 令和 6 年度事業評価シート 1
2. 【那覇市】 令和 6 年度事業評価シート 21

2. 【那覇市】令和6年度事業評価シート

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	1	計画/評価年度	令和6年度
施策	古都首里を感じる空間の創出 ①良好な景観形成の推進		
事業名	住民による修景整備(赤瓦、石垣、緑化等)への助成制度 (龍潭通り沿線地区、首里金城地区)	事業主体	那覇市 都市計画課
事業期間	平成6年度～	関係機関	
首里杜まちづくり 推進協議会	☐ (大)連携が特に必要な事業 ☒ (中)連携が部分的に必要な事業 ☐ (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	☐ 未着手 ☐ 準備中 ☒ 実施中 ☐ 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
事業概要	都市景観形成地域に指定している、首里金城地区及び龍潭通り沿線地区における建設工事等において、都市景観の形成に著しく寄与すると認められる行為に係る経費の一部(琉球赤瓦や琉球石灰岩等による修景費用)に対し、助成金を交付する。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
運用中 龍潭通り沿線地区(2003年～)、首里金城地区(1994年～)					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	歴史的景観に調和した良好な景観形成を図るため、伝統的な素材である琉球赤瓦や琉球石灰岩等による景観形成を図る。特に、都市景観に著しく寄与する行為について、経費の一部を助成し推進する。
----------	--

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	令和6年度: 首里金城地区、龍潭通り沿線地区:助成件数3件
進捗状況	☐ 1. 想定通り順調 ☒ 2. 概ね順調 ☐ 3. やや遅れ ☐ 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え:1. 80%以上/2. 60～79%/3. 40～59%/4. 39%以下)
課題と対応方針	【課題】景観形成地域指定から20年以上が経過し、赤瓦屋根の修繕時期を迎える建物も増えてきている為、漆喰塗り替え等の大規模な修繕行為についても、助成が可能であることを広く周知する必要がある。 【対応方針】助成等に関するパンフレットの各戸配布と共に、建築関連団体への周知を図る。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

都市景観形成イメージ





首里金城地区

龍潭通り沿線地区

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	2	計画/評価年度	令和6年度
施策	古都首里を感じる空間の創出 ①良好な景観形成の推進		
事業名	都市景観形成地域指定によるまちなみ誘導 住民による修景整備への助成制度の拡充 (ニシカタ地区、首里三箇地区)	事業主体	那覇市 都市計画課
事業期間	(計画中)	関係機関	
首里杜まちづくり 推進協議会	☒ (大)連携が特に必要な事業 ☐ (中)連携が部分的に必要な事業 ☐ (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	☐ 未着手 ☒ 準備中 ☐ 実施中 ☐ 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
事業概要	首里らしい歴史的・伝統的景観を保全するとともに良好な景観形成を促進するため、地域との 合意形成や情報共有を図り、新たな都市景観形成地域の指定に取り組む。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
調査、景観形成基準検討、合意形成				景観計画変更、 条例改正	運 用

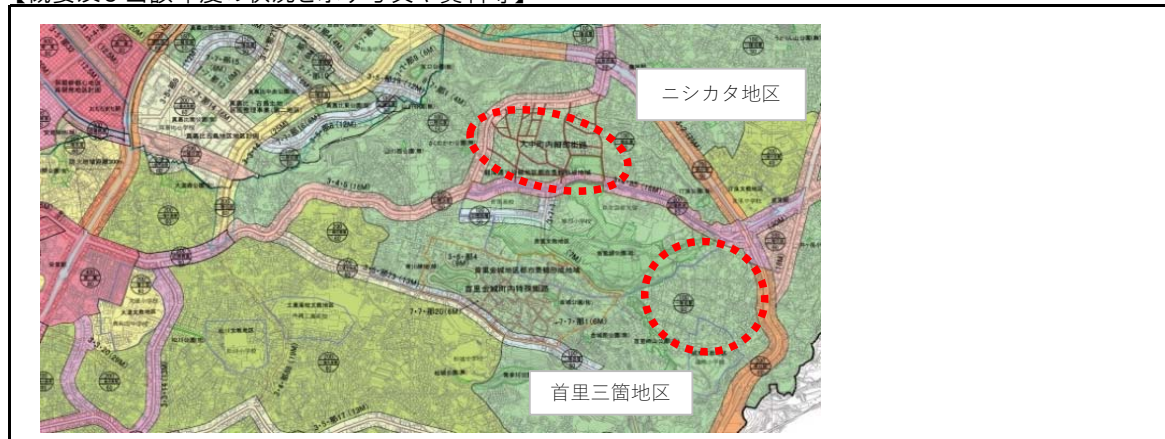
【当該年度計画】

今年度の取組内容	令和7年度から実施する景観形成基準検討や合意形成等に向けて、関係機関と調整を行う。
----------	---

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	令和7年度実施のニシカタ地区景観形成基準の検討に向けて、予算確保及び街なみ環境整備方針策定業務のプロポーザル方式発注の準備を行っている。
進捗状況	☐ 1. 想定通り順調 ☐ 2. 概ね順調 ☒ 3. やや遅れ ☐ 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	【課題】 当初、街なみ環境整備方針策定は、2地区同時に整備方針策定を進める計画であったが、対象が広範囲である。 【対応方針】 次年度より、ニシカタ地区から順次、整備基準策定に向けた調査・意見交換・基準策定等を行う。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	3	計画/評価年度	令和6年度
施策	古都首里を感じる空間の創出 ①良好な景観形成の推進		
事業名	都市計画等によるまちなみ保全 (景観地区、地区計画、高さ、意匠等)	事業主体	那覇市 都市計画課
事業期間	(計画中)	関係機関	
首里杜まちづくり 推進協議会	☒ (大)連携が特に必要な事業 ☐ (中)連携が部分的に必要な事業 ☐ (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	☐ 未着手 ☒ 準備中 ☐ 実施中 ☐ 実施済み
事業手法 事業名			
事業概要	都市計画(景観地区、地区計画等)によるまちなみ保全(高さ、意匠等)に取り組む 首里城及びその周辺エリアにおける地区の相応しい景観やまちなみについて、地域の方々との協働の 取り組みにより、将来像実現に向けた規制及び誘導基準等の検討を進める。地域との合意形成や情報 共有を図った上で都市計画の決定・変更等の手続きに取り組む。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
		調査、将来像・基準等の検討・共有、合意形成			

【当該年度計画】

今年度の取組内 容	都市計画(景観地区、地区計画等)によるまちなみ保全(高さ、意匠等)の可能性を検討する ため、事例調査や関係法令の整理等を行う。
--------------	--

【当該年度評価】

定量的・定性的評 価(自由記述)	未実施
進捗状況	☐ 1. 想定通り順調 ☐ 2. 概ね順調 ☐ 3. やや遅れ ☒ 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	【課題】 規制の強い景観地区等の指定は、合意を得るのに時間を要する。 【対応方針】 景観形成地域(重点地区)指定から取り組む予定。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



首里杜地区全域

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	6	計画/評価年度	令和6年度
施策	古都首里を感じる空間の創出 ①良好な景観形成の推進		
事業名	首里杜地区歴史散歩道の整備事業	事業主体	那覇市 道路建設課
事業期間	令和7年度～令和13年度(調整中)	関係機関	那覇市 道路管理課
首里杜まちづくり 推進協議会	☐ (大)連携が特に必要な事業 ☒ (中)連携が部分的に必要な事業 ☐ (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	☐ 未着手 ☒ 準備中 ☐ 実施中 ☐ 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興特別推進交付金(仮)		
事業概要	首里杜地区において琉球王朝時代の歴史を感じ、楽しく歩けるよう歴史・文化遺産をつなぐ歴史散歩道(カラー・石張舗装・道標等)を整備する。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
取り組み内容、 スケジュールの検討	調査・合意形成・設計・整備				

【当該年度計画】

今年度の取組内容	事業化に向けて沖縄振興特別推進交付金の予算要求を行う。
----------	-----------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価 (自由記述)	事業化に向けて、テーマ活動および部会に参加し情報収集を行った。
進捗状況	☐ 1. 想定通り順調 ☒ 2. 概ね順調 ☐ 3. やや遅れ ☐ 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	協議会等で地域の求めるゾーニングや周遊ルートが定まっていないことから、令和7年度に協議会での検討を見極め令和8年度より首里杜地区歴史散歩道の整備計画(路線の選定)の策定に向けて進める予定。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



整備事例(赤田北線)



情報整理(市道、歴道、湧水)

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	7	計画/評価年度	令和6年度
施策	古都首里を感じる空間の創出 ①良好な景観形成の推進		
事業名	首里金城地区細街路整備事業	事業主体	那覇市 道路建設課
事業期間	平成18年度～令和8年度(事業認可期間)	関係機関	那覇市 都市計画課
首里杜まちづくり 推進協議会	☐ (大)連携が特に必要な事業 ☐ (中)連携が部分的に必要な事業 ☒ (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	☐ 未着手 ☐ 準備中 ☒ 実施中 ☐ 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興公共投資交付金(街路事業)		
事業概要	首里金城地区は、石畳道、石垣、共同井戸や、赤瓦、屋門をもつ家屋等まちそのものが優れた歴史資源であるとともに多くの文化遺産を有している。このような首里金城地区の歴史的まちなみを保全・復元し、これらを取り囲む地域の生活環境基盤整備を図るため、歴史的地区への誘導路整備、歴史的みちすじの整備等を行う。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
整備中(2006年～)					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	用地取得、物件(工作物)補償及び整備工事等
----------	-----------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	当初、現状維持を予定していた石積擁壁に孕みが発見されたことから、R4は実施設計、R5は文化財調査を行い、R6に工事を実施した。
進捗状況	☐ 1. 想定通り順調 ☐ 2. 概ね順調 ☒ 3. やや遅れ ☐ 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	【課題】 事業を開始して15年以上経ち、既存石積の経年変化が見られるようになってきていること。また、電線共同溝の合意路線となったことから整備に更に時間を要する。 【対応方針】 新たに整備(擁壁新設)箇所が増えることから実施設計を追加し、対応する。狭隘な場所での電線共同溝となるので、電線管理者と連携をとりながら整備方針について検討していく。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



整備イメージ



工事着手前

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	8	計画/評価年度	令和6年度
施策	古都首里を感じる空間の創出 ②水と緑の保全・再生・活用		
事業名	水資源有効利用推進事業	事業主体	那覇市 環境保全課
事業期間	(事業中)平成12年度～令和13年度	関係機関	
首里杜まちづくり 推進協議会	☐ (大)連携が特に必要な事業 ☐ (中)連携が部分的に必要な事業 ☒ (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	☐ 未着手 ☐ 準備中 ☒ 実施中 ☐ 実施済み
事業手法 事業名	市単独事業:那覇市水資源有効利用推進要綱より		
事業概要	水資源の有効利用及び地下水涵養のため、新たに建築物を建築しようとする者に対し、「水資源有効利用・節水計画書」の提出を求め、雨水の利用や地下への浸透を促し、地下水の涵養に関する市民意識の普及に努めています。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
新築建物に対し「水資源有効利用・節水計画書」の提出(2000年～)					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	新たに建築物を建築しようとする者に対し「水資源有効利用・節水計画書」の提出を継続している。今後も申請を通じて水資源の有効活用・地下水の涵養に関する市民意識の普及に努めていく。
----------	---

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	水資源有効利用・節水計画書の件数はR7年1月末時点で283件です。申請件数としては例年と同様に推移していると考えられる。
進捗状況	☐ 1. 想定通り順調 ☒ 2. 概ね順調 ☐ 3. やや遅れ ☐ 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え:1. 80%以上/2. 60～79%/3. 40～59%/4. 39%以下)
課題と対応方針	「水資源有効利用・節水計画書」の申請手続きを継続することで関係機関と連携し、水資源の有効利用・節水及び地下水の涵養へ意識啓発を図る。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

水資源有効利用・節水計画書(様式) 	令和6年度水資源有効利用・節水計画書の提出件数: 283件 (R7.1月末) (首里杜地区内は11件)
--	---

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	9	計画/評価年度	令和6年度
施策	古都首里を感じる空間の創出 ②水と緑の保全・再生・活用		
事業名	湧水等を活用した交流スペース等の整備	事業主体	那覇市 道路建設課
事業期間	令和9年度～令和13年度(調整中)	関係機関	那覇市 都市計画課
首里杜まちづくり 推進協議会	☐ (大)連携が特に必要な事業 ☒ (中)連携が部分的に必要な事業 ☐ (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	☐ 未着手 ☒ 準備中 ☐ 実施中 ☐ 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興特別推進交付金(仮)		
事業概要	首里杜地区は本市の高台に位置しており、三方を河川に囲まれ地区内には湧水が多く、水が豊かな地区となっている。 樋川や井泉の多くは古くから飲み水や生活用水として利用され、また、地域住民等の祈りの場、交流の場として活用されてきており、人々が憩い集えるスペース(広場)等の整備を行う。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
取り組み内容、 スケジュールの検討	調査・合意形成・設計・整備				

【当該年度計画】

今年度の取組内容	部会参加・地域資源調査等の情報収集、事業手法の検討及び事業化に向けて予算要求を行う。
----------	--

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	部会参加・地域資源調査等の情報収集を行った。
進捗状況	☐ 1. 想定通り順調 ☐ 2. 概ね順調 ☒ 3. やや遅れ ☐ 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	地域資源調査の結果と、ゾーニング、周遊ルート等がまだ定まっておらず、具体的な整備箇所の検討は出来ていない。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



ヤマトガー

イメージ



湧水の情報収集(位置)

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	10	計画/評価年度	令和6年度
施策	古都首里を感じる空間の創出 ②水と緑の保全・再生・活用		
事業名	地区内緑化の推進	事業主体	那覇市公園管理課、 沖縄県緑化推進委員会 那覇支部
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	
首里杜まちづくり 推進協議会	☐ (大)連携が特に必要な事業 ☒ (中)連携が部分的に必要な事業 ☐ (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	☐ 未着手 ☐ 準備中 ☒ 実施中 ☐ 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】 沖縄振興特別推進交付金(ソフト交付金) 【市単独事業】 緑化推進事業 【沖縄県緑化推進委員会那覇支部事業】 那覇市緑化推進事業の支援		
事業概要	那覇市在住の個人・団体を対象に草花苗等を提供し、緑のまちづくりを推進する。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
緑地保全・再生方策等の検討・実施					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	1 植樹の支援 緑化に対する意識を向上し、緑豊かな街並み形成を推進するため、自治会・通り会・学校等の公益的な団体が行う緑化推進や地域活性化を目的とした植樹に対し支援を行う。 2 樹木苗の配布 市内の公共公益施設の緑化を推進するため、樹木及びつる性種の苗木等の配布を行う。 3 草花苗の配布 「花いっぱい運動」を推進するため、草花の苗等の配布を行い支援する。 首里杜地区内における実績は、1件:城南小学校(300鉢)。
----------	--

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	今年度、「那覇市をお花いっぱいにしよう！」(別添資料参照)のホームページを更新し、地区内においては、自治会等の団体へ草花苗を配布した。 首里地区へは18団体など草花苗・堆肥を提供した。
進捗状況	☐ 1. 想定通り順調 ☒ 2. 概ね順調 ☐ 3. やや遅れ ☐ 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	地区内の沿道景観の向上に資することから、緑化推進にかかる市民活動について、引き続き支援する。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	12	計画/評価年度	令和6年度
施策	古都首里を感じる空間の創出 ③共創の景観まちづくりの推進		
事業名	那覇の景観賞	事業主体	那覇市 都市計画課
事業期間	昭和61年度～	関係機関	
首里杜まちづくり 推進協議会	☐ (大)連携が特に必要な事業 ☐ (中)連携が部分的に必要な事業 ☒ (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	☐ 未着手 ☐ 準備中 ☒ 実施中 ☐ 実施済み
事業手法 事業名	【市単独事業】単費		
事業概要	那覇らしい都市の景観をまもり、そだて、さらに新しい那覇らしさをつくりだし、自らが住み、働き、憩う、私たちの都市を個性豊かで、快適なものにするための「都市景観賞」を設け、都市景観に調和し風格のある街並みを形成している魅力ある建築物、道路、工作物、屋外広告物、広場、景観づくり活動などを公募し、表彰する。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
表彰・シンポジウムによる啓発(1986年～)					

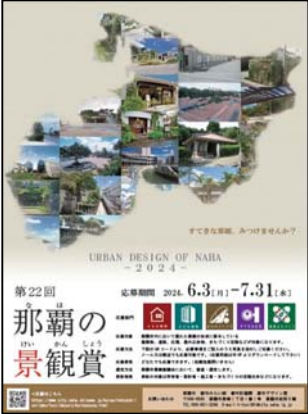
【当該年度計画】

今年度の取組内容	景観賞の公募を行い、景観審議会にて表彰対象の選定後、表彰を行う。
----------	----------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	景観賞の公募を行い、都市景観審議会にて5作品が選定され(そのうち2作品は、首里杜地区内)、表彰を行った。
進捗状況	☒ 1. 想定通り順調 ☐ 2. 概ね順調 ☐ 3. やや遅れ ☐ 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	多数の応募が必要なことから、庁内、関係団体のみならず、教育機関(学校等)、市内商業施設等へ協力を仰ぎ、広く周知を図る。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】





首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	13	計画/評価年度	令和6年度
施策	歴史文化資源等の保全・整備・活用 ①幅広い歴史文化資源の再評価と保存・活用		
事業名	歴史文化基本構想等の策定検討	事業主体	那覇市 文化財課
事業期間	(事業予定)令和4年度～令和13年度	関係機関	
首里杜まちづくり 推進協議会	☒ (大)連携が特に必要な事業 ☐ (中)連携が部分的に必要な事業 ☐ (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	☒ 未着手 ☐ 準備中 ☐ 実施中 ☐ 実施済み
事業手法 事業名	市単独		
事業概要	首里地区の歴史文化まちづくり構想に資するため、那覇市における文化財保護の基本的方針となる計画の策定を検討する。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
構想・計画の策定の検討					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	歴史文化基本構想等を策定するにあたり、地域における文化財の総合的な保存及び活用に係る基本的な計画及び個別の保存活用計画、また日本遺産認定制度等の関連する計画等の関連を整理するとともに、あわせて真和志、小禄、旧那覇地区の文化財に関する方針も検討する必要がある。他自治体の動向も参考にし、整理検討を行う。
----------	--

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	令和6年度は、首里杜まちづくり推進協議会が主体となって開催したテーマ活動に参加し、ニシカタ地区、首里三箇地区、首里金城地区の三地域の文化財所在の現状、地域住民の文化財に対する認識等を確認することができた。
進捗状況	☐ 1. 想定通り順調 ☐ 2. 概ね順調 ☐ 3. やや遅れ ☒ 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	課題: 計画策定の事業化 対応等: 地域会議等を通して、地域の声を徴取

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

別添参照 (参考: 長崎市歴史文化基本構想)	
-----------------------------------	--

参考：長崎市歴史文化基本構想より抜粋

（２）歴史文化基本構想の位置付け

本構想は、「長崎市第四次総合計画」（平成 23 年 3 月策定）の基本施策「A1 歴史・文化遺産を守り、活かし、伝えます」に基づいて策定するものであり、都市計画や景観計画等のまちづくりに係る計画と連携・調整・相互補完を図りながら進めていく方針として定めるものである。

また、前述のように、長崎市の文化財の保存・継承・活用やまちづくりを推進するためのマスタープランとして、各文化財の保存や整備に係る計画等の上位に位置付けられる。

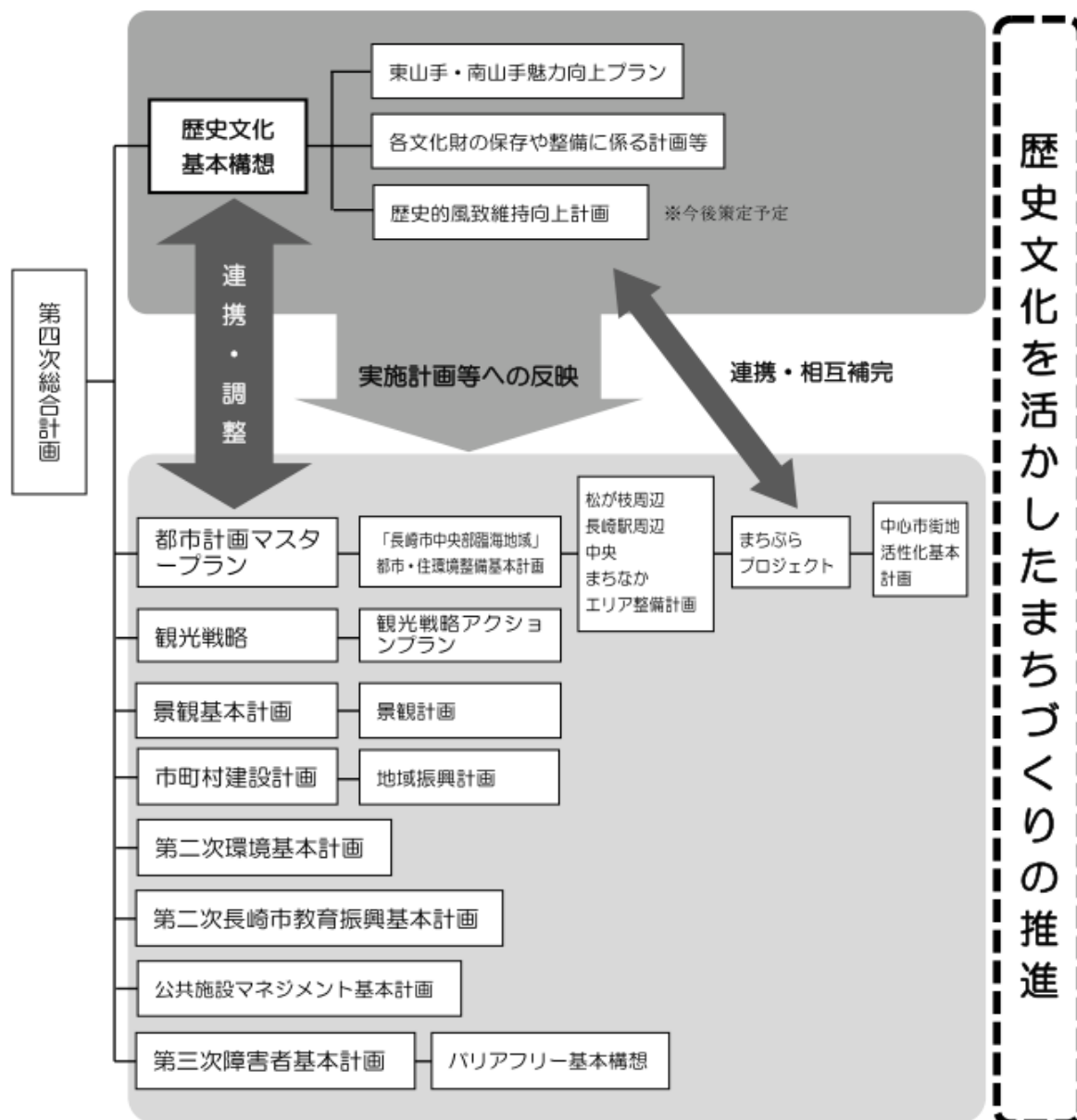


図 1-1: 歴史文化基本構想の位置付け

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	14	計画/評価年度	令和6年度
施策	歴史文化資源等の保全・整備・活用 ①幅広い歴史文化資源の再評価と保存・活用		
事業名	近現代の歴史文化資源(戦跡含む)の調査	事業主体	那覇市 文化財課
事業期間	随時	関係機関	
首里杜まちづくり 推進協議会	☐ (大)連携が特に必要な事業 ☒ (中)連携が部分的に必要な事業 ☐ (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	☐ 未着手 ☐ 準備中 ☒ 実施中 ☐ 実施済み
事業手法 事業名	【埋蔵文化財発掘調査受託事業収入】 那覇市内遺跡発掘調査		
事業概要	開発に伴う建築・建設工事の前に試掘調査を実施し、埋蔵文化財の有無を確認する。埋蔵文化財が出土した場合の発掘調査を行う。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
調査の検討(必要に応じ実施)					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	那覇市内遺跡発掘調査
----------	------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	個人宅等の建築工事に伴う記録保存を目的とした発掘調査を実施した。 6・10月 首里寒川町地内(首里寒水川村跡) 10月 首里金城町地内(首里旧金城村跡) 2月 首里赤平町地内(具志頭殿内跡)
進捗状況	☒ 1. 想定通り順調 ☐ 2. 概ね順調 ☐ 3. やや遅れ ☐ 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	令和8年度以降に那覇市道路建設課の工事に係る発掘調査が必要となる見込み。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



首里旧金城村跡 調査写真



具志頭殿内跡 調査写真

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	19	計画/評価年度	令和6年度
施策	歴史文化資源等の保全・整備・活用 ②拠点資源および周辺の保全・復元・整備		
事業名	伊江殿内庭園保存整備事業	事業主体	那覇市 文化財課
事業期間	(事業中)平成15年度～令和8年度	関係機関	文化庁
首里杜まちづくり 推進協議会	☐ (大)連携が特に必要な事業 ☒ (中)連携が部分的に必要な事業 ☐ (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	☐ 未着手 ☐ 準備中 ☒ 実施中 ☐ 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業 伊江殿内庭園保存整備事業		
事業概要	伊江殿内庭園は、琉球王府時代の上流階級の庭園としての価値が認められ、昭和61年に名勝伊江殿内庭園として国の文化財指定を受けた。文化財指定後には平成15年より保存整備事業に着手しており、令和8年度に事業完了を予定。整備完了後は一般公開を予定している。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
整備中(2003年～)					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	庭園主庭部の実施設計及び工事。
----------	-----------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	主庭部の実施設計、主庭部の整備工事等を実施している。
進捗状況	☐ 1. 想定通り順調 ☒ 2. 概ね順調 ☐ 3. やや遅れ ☐ 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	今後も伊江殿内庭園の公開に向け、主庭部及び園地に係る整備を実施していく。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	20-2	計画/評価年度	令和6年度
施策	歴史文化資源等の保全・整備・活用 ②拠点資源および周辺の保全・復元・整備		
事業名	指定文化財周辺の環境整備	事業主体	那覇市 文化財課
事業期間	(事業中)平成15年度～令和8年度	関係機関	
首里杜まちづくり 推進協議会	☐ (大)連携が特に必要な事業 ☒ (中)連携が部分的に必要な事業 ☐ (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	☐ 未着手 ☐ 準備中 ☒ 実施中 ☐ 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】天然記念物再生事業 首里金城の大アカギ再生事業		
事業概要	国の天然記念物に指定され、観光資源として多くの観光客が訪れる首里金城の大アカギだが、樹勢衰退が確認され、さらに令和2年からヨコバイによる害虫被害が確認されていることから、樹勢診断及び樹勢回復業務を実施。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
整備等(必要に応じ実施)					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	樹木医指導のもと樹勢回復(縦穴式土壌改良)を行うことで、大アカギへ活力を与え樹勢を回復することで、害虫への対抗性を高める。
----------	---

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	樹木医指導のもと樹勢診断を行い、樹勢回復業務を実施した。
進捗状況	☒ 1. 想定通り順調 ☐ 2. 概ね順調 ☐ 3. やや遅れ ☐ 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	令和6年4月頃にヨコバイの影響による落葉が確認された。次年度も引き続き樹勢診断及び樹勢回復業務を実施していく。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	21-2	計画/評価年度	令和6年度
施策	歴史文化資源等の保全・整備・活用 ③歴史文化的資源の魅力向上や新たな資源の創出		
事業名	地域資源の調査及び修景等	事業主体	那覇市 都市計画課
事業期間	(計画中)	関係機関	
首里杜まちづくり 推進協議会	☒ (大)連携が特に必要な事業 ☐ (中)連携が部分的に必要な事業 ☐ (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	☐ 未着手 ☒ 準備中 ☐ 実施中 ☐ 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】(仮予定)沖縄振興特別推進交付金		
事業概要	首里杜地区における歴史文化資源調査及び修景整備等を行う。 首里城及びその周辺エリアにおいて、地域の歴史文化資源の整理をおこなうとともに、市民との協働の取り組みにより身近な資源や新たな資源の発見や再評価をおこなう。また、これらの資源の周辺環境を含めた整備や修景に取り組むことで歴史と調和した景観の創出を図り、これらの資源をつなぎ活用したまちづくりを推進する。 事業スケジュール ○令和7年度以降：歴史文化資源の調査設計業務等		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
取り組み内容、 スケジュールの検討	調査・設計・修景整備等(順次実施)				

【当該年度計画】

今年度の取組内容	調査業務の内容および取組スケジュールの検討を行う。
----------	---------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	地域資源案内のための周遊ルート策定に向けたワークショップに参加し、地域要望等の把握を行った。また、取り組みスケジュールの検討を行った。
進捗状況	☐ 1. 想定通り順調 ☐ 2. 概ね順調 ☐ 3. やや遅れ ☒ 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	【課題】 地域資源には、民有地に所在する資源も多いことから、事業の実施手法などについて課題がある。 【対応方針】 実施手法等について検討を行う。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



首里杜地区全域

事業No	26	計画/評価年度	令和6年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	地域内交通の充実	事業主体	那覇市 都市計画課
事業期間	令和6年度～	関係機関	公共交通事業者
首里杜まちづくり推進協議会	☐ (大)連携が特に必要な事業 ☐ (中)連携が部分的に必要な事業 ☒ (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	☐ 未着手 ☐ 準備中 ☒ 実施中 ☐ 実施済み
事業手法 事業名	実態把握や需要調査、公共交通事業者や地域住民の意見等の調査を実施。		
事業概要	公共交通不便地域について、地域特性に応じて、地域内交通の充実策を検討していきます。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期（5年）					後 期（5年）
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
			需要調査、実施手法の検討		

【当該年度計画】

今年度の取組内容	那覇市地域公共交通計画の策定に向けた検討
----------	----------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	那覇市地域公共交通計画を策定(令和6年度末)
進捗状況	☒ 1. 想定通り順調 ☐ 2. 概ね順調 ☐ 3. やや遅れ ☐ 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	地域公共交通計画で抽出した公共交通不便地域については、地域特性に応じて、地域内交通の充実策を検討していく。 また、地域と連携しながら運行形態や、運営体制等を検討し、持続可能な交通手段の確保を目指す。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

--	--

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	29	計画/評価年度	令和6年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	シェアサイクル等の促進(自転車利用促進策)	事業主体	那覇市 都市計画課 ・民間事業者
事業期間	～令和6年3月29日	関係機関	沖縄県 交通政策課
首里杜まちづくり 推進協議会	☐ (大)連携が特に必要な事業 ☐ (中)連携が部分的に必要な事業 ☒ (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	☐ 未着手 ☐ 準備中 ☒ 実施中 ☐ 実施済み
事業手法 事業名	那覇市シェアサイクル事業		
事業概要	那覇市交通基本計画に掲げる『誰もが移動しやすいまちをつくる』を基本目標とした施策の一つである『多様な移動手段の利用環境の向上・充実』の実現に向け、公共交通の機能を補完する新たな交通サービスとしてシェアサイクルの利用を促進することにより、市民や来街者の利便性・回遊性など移動環境の向上と充実を図るため、本事業を実施する。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
運用中 運用中・サービス規模の向上検討					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	シェアサイクル利用状況を確認しながら、ポートの拡充を検討する。
----------	---------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	令和6年度実績 首里杜地区内1箇所ではシェアサイクルポートの設置。 (令和4年度実績:4箇所 令和5年度実績:4箇所、計9箇所)
進捗状況	☒ 1. 想定通り順調 ☐ 2. 概ね順調 ☐ 3. やや遅れ ☐ 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え:1. 80%以上/2. 60～79%/3. 40～59%/4. 39%以下)
課題と対応方針	首里杜地区内においては、道路が狭小で起伏も激しいことから、シェアサイクルポート設置等の自転車利用促進にあたっては、安全安心な歩行者・自転車利用環境が課題となる。そのため、今後はシェアサイクル利用状況を確認しながら、事業者と連携してポート拡充に取り組む予定。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



出典:HELLO CYCLINGのHPより



首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	30	計画/評価年度	令和6年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	モビリティ・マネジメント	事業主体	那覇市 都市計画課
事業期間	実施中	関係機関	那覇市教育委員会
首里杜まちづくり推進協議会	☐ (大)連携が特に必要な事業 ☐ (中)連携が部分的に必要な事業 ☒ (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	☐ 未着手 ☐ 準備中 ☒ 実施中 ☐ 実施済み
事業手法 事業名	交通に対する意識改革・意識啓発イベント等の実施。公共交通ハンドブックの活用や出前講座の実施などにより自家用車以外の交通手段への転換を図る。		
事業概要	様々な手段や媒体を通して、自家用車に頼りすぎない暮らしを推進するための意識啓発活動を実施する。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
モビリティ・マネジメント、交通マナーの啓発					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	・那覇市立小学校及び中学校に、MM動画の活用促進 ・意識啓発イベントへの参加や、公共交通に関するパネル展を実施 ・那覇市への転入者等に対して、那覇市公共交通ハンドブックを無料配布 ・小学生を対象に、動画教材を用いた出前講座を実施 ・那覇市HPを活用し、公共交通に関する情報発信
----------	--

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	・那覇市立小学校及び中学校にMM動画の活用依頼を実施(令和6年4月) ・本庁舎1階にて公共交通に関するパネル展を実施(令和6年9月) ・ひやみかちはウォークにて公共交通に関するパネル展を実施(令和6年11月) ・那覇市役所などにおいて、那覇市公共交通ハンドブックを無料配布(7,950部) ・市内小学校2校にMM動画教材を用いた出前講座を実施(令和6年11月) ・首里中学校を対象に那覇市公共交通ハンドブックを配布(令和6年7月) ・首里杜バスマップを作成し、那覇市HPに公開(令和6年8月)
進捗状況	☒ 1. 想定通り順調 ☐ 2. 概ね順調 ☐ 3. やや遅れ ☐ 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	・引き続き事業を実施

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】







首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	34	計画/評価年度	令和6年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ②安全・安心で歩きたくなる市街地の形成		
事業名	景観に配慮した生活道路の交通安全対策	事業主体	那覇市 道路管理課 那覇市 道路建設課
事業期間	令和5年度～	関係機関	
首里杜まちづくり 推進協議会	☐ (大) 連携が特に必要な事業 ☒ (中) 連携が部分的に必要な事業 ☐ (小) 情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	☐ 未着手 ☐ 準備中 ☒ 実施中 ☐ 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】社会資本整備総合交付金、沖縄振興特別推進交付金(仮) 交通安全対策特別交付金		
事業概要	(仮)首里杜地区内において、自動車の速度や交通量の抑制、安全な歩行空間の確保を図るため、ハンプなどの物理的デバイスの設置や路肩の着色など、景観に配慮した交通安全対策に取り組む。なお、外側線の設置など、必要な対策についてはこれまで通り適宜進めていく。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
危険箇所把握・対策検討・整備等(順次実施)					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	那覇市スクールゾーン連絡協議会と実施した合同点検や地域住民等からの交通安全に関する要望について、関係機関と調整を行い、対策案を検討する。また、緊急性が高い箇所については、早期に対策を実施する。 なお、路肩の着色等に関する対策については、色彩についてデザインアドバイザーなどの意見を伺いながら、景観に配慮した交通安全対策を実施する。
----------	--

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	【寒川3号の路側帯拡幅・着色】 各小学校からの要望等に対して警察協議を行い、寒川3号の路側帯の拡幅を行った。併せて景観アドバイザーの意見を踏まえながら色彩を決定し、路肩の着色を行った。外側線の設置など必要な対策については適宜進めている。
進捗状況	☐ 1. 想定通り順調 ☒ 2. 概ね順調 ☐ 3. やや遅れ ☐ 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	首里杜地区内における色彩については、景観に配慮するよう意見もあることから、必要に応じて景観アドバイザーの活用等により色彩を決定する。地域発の周遊マップを参考にしながら、那覇市スクールゾーン連絡協議会の意見と整合させ、必要な対策を検討していく。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

【安心安全な歩行空間の整備の例】

- 歩道の設置
- 防通柵の設置
- カラー舗装の実施

【生活道路のエリア内の交通安全の例】

- ハンプの設置
- 狭さくの設定
- ライジングボードの設置
- 路面表示

景観に配慮した事例



寒川3号(首里高校南側の一方通行)

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	36	計画/評価年度	令和6年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ②安全・安心で歩きたくなる市街地の形成		
事業名	都市計画道路大中細街路	事業主体	那覇市 都市計画課 那覇市 道路建設課
事業期間	未定	関係機関	
首里杜まちづくり 推進協議会	☐ (大) 連携が特に必要な事業 ☐ (中) 連携が部分的に必要な事業 ☒ (小) 情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	☐ 未着手 ☒ 準備中 ☐ 実施中 ☐ 実施済み
事業手法 事業名	沖縄振興公共投資交付金・街路事業(仮)		
事業概要	都市計画道路大中細街路は、戦後、自動車社会の到来や、急速な市街化が進む当時の社会情勢のもと、地域内の交通処理や土地利用の誘導を目的として、昭和35年に都市計画決定されたが、交通処理機能上重要な幹線道路の整備を優先的に進めてきたため、未だ事業化に至っていない。 その間、地域の交通環境に変化が生じ当初計画を見直す必要が出たため、平成28年度より地域の方々と意見交換等を行い、当初計画を見直す方針とした。 今後当該方針を踏まえ、都市計画道路の廃止及び、一部区域や幅員の変更を行う予定である。 【路線概要(令和4年3月末時点)】 路線数:19路線(9m幅員:2路線、6m幅員:8路線、4m幅員:9路線) 延長:約3,222m(9m幅員:約752m、6m幅員:約1,656m、4m幅員:約814m)		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
都市計画 変更	事業手法の検討、事業認可手続き、事業実施等(順次実施)				

【当該年度計画】

今年度の取組内容	事業実施時期の検討
----------	-----------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	事業実施時期の検討を行った。
進捗状況	☐ 1. 想定通り順調 ☐ 2. 概ね順調 ☐ 3. やや遅れ ☒ 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え:1. 80%以上/2. 60～79%/3. 40～59%/4. 39%以下)
課題と対応方針	【課題】 現在、首里金城地区細街路事業を実施中であり、完了の目途が立っておらず、大中細街路の事業着手の時期が定められない状況にある。 【対応方針】 首里金城地区細街路事業を推進し、完了の目途を立てる。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



令和4年4月19日
都市計画の変更



情報整理 (市道、大中細街路、湧水)

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	37	計画/評価年度	令和6年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ③伝統産業の継承や新たな賑わいの創出		
事業名	まち歩き観光の促進	事業主体	那覇市 観光協会
事業期間	(実施中)平成24年度～	関係機関	那覇市 観光課
首里杜まちづくり推進協議会	☒ (大)連携が特に必要な事業 ☐ (中)連携が部分的に必要な事業 ☐ (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	☐ 未着手 ☐ 準備中 ☒ 実施中 ☐ 実施済み
事業手法 事業名	沖縄振興特別推進交付金(ソフト交付金)		
事業概要	市内のモノレール駅、観光拠点施設等(スタート地点)を出発地に、地元ガイドと共に地域の資源を見てまわる「まち歩き」を行い、地元ガイドとのふれあいによる市内観光の満足度を高めるとともに、市内周遊の促進、滞在時間の延長、それらに伴う消費機会の拡大による地域活性化などを目的としている。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
まちまーいの企画・実施(継続)					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	旅行形態が団体旅行から個人旅行にシフトしていることへの対応、修学旅行の取り込み強化、欧米のインバウンドに絞った、外国語対応ガイドの確保及びコースの検討に取り組む。市内周遊促進及び市内滞在時間の延長に資する事業として、安定した運営が継続できるよう収益安定化に努める。
----------	--

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	・「見せる復興」をキーワードに、本殿完成予定の2026年に向けて、首里城周辺の案内コースの見直しやPRの強化を実施。 ・コロナ禍により休止していた50名以上の大型団体の受入に向けて、ガイド養成・研修等を実施し、8月より予約受付を再開。 ・インバウンド向け英語版まちまーい(名称:Naha Walking Tours)を導入。米軍基地内の広報誌へPR広告を掲載し、県内在住外国人向けの宣伝も強化。
進捗状況	☐ 1. 想定通り順調 ☒ 2. 概ね順調 ☐ 3. やや遅れ ☐ 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	・まちあるき商材は、歩きやすくなる秋～冬にかけてが繁忙となるが、年間を通しての平準化を目指し、地域資源とパッケージ化した新たな商品開発に取り組む。 ・Naha Walking Tours の予約とガイド手配のタイミングがアンマッチとなっているため、課題解決にむけて取り組んでいく。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



